

日本骨・関節感染症学会雑誌投稿規定

1. 主著者は、日本骨・関節感染症学会会員であることを要し、論文の採否は編集委員会（幹事会）で決定する。投稿された論文が本誌に掲載された際には、その著作権は日本骨・関節感染症学会の保有となったものと見做す。
2. 投稿論文は他誌に掲載済みのあるいは投稿中のものを禁ずる。
3. 倫理的配慮：投稿論文における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること。また、症例報告においては、患者あるいは適切な関係者から写真を含む情報が出版されることについての同意を得たことを明記すること。例えば「患者（またはその家族）は、得られた写真やデータが掲載されることについて説明を受け、その内容について同意した」という記載が必要である。整形外科的な診断、治療や、疫学を含む病態の理解に寄与する症例情報（性別、年齢その他）は明らかにしつつ、患者の名前、イニシャル、病院での患者番号など、個人の同定を可能とするような情報は記載しないという十分な配慮が必要である。
4. 論文原稿は A4判400字詰原稿用紙に横書きとし、次のように書くこと。
 - (1) タイトルページ
 - (2) 200字以内の和文抄録
 - (3) 200語以内の英文抄録
 - (4) 本文15枚以内
 - (5) 文献
 - (6) 図表説明文
 - (7) 図・表あわせて10個以内
 - (8) タイトルページを1ページとし、(4)まで通しNo.をつける。
5. ワードプロセッサを用いる場合、原稿は1行20字×20行＝400字をもって1枚とし、ダブルスペースでプリントのうえ、A4判大の原稿の形とすること。
6. タイトルページには、
 - (1) 論文の題名
 - (2) 著者名、共著者名
 - (3) 所属
 - (4) キーワード
 - (5) 英文タイトル
 - (6) 著者ならびに共著者の英文表記
 - (7) 所属の英文表記
 - (8) 発表済みの論文であれば発表学会名を示すこと。
 - (9) 連絡先の氏名、住所、電話番号を記すこと。
 - (10) 下段に別刷り希望数を朱書すること。

7. 原稿は常用漢字、新かなづかいを用い、学術用語は「医学用語辞典」（日本医学会編）、「整形外科学用語集」（日整会編）にできるだけ従うものとする。年号は西暦を使用すること。固有名詞はすべて固有の文字を、数字はすべて算用数字を使用し、日本語化した外国語は片カナで、（この場合「」は不要）、外国綴りはタイプライターを使用すること。数量を示す文字は m, cm, mm, μ , l, ml, kg, g mg, %, pH など、その他、図 1、表 1、症例 1、第 12 胸椎の用例に従う。

8. 引用文献は

(1) 10 編以内とする。

(2) 論文末の文献欄では、国内、国外を問わず筆頭著者名（姓）を ABC 順に配列し、文献番号をつける。

(3) 本文中の引用箇所には肩番号を付す。

(4) 著者名は筆頭名のみとし、共著者氏名は、省略し、「ほか」あるいは「et al」とする。

(5) 文献の表題は副題を含めて記載する。日本語文献は「-」、外国語文献は「:」でつなぐ。

(6) 雑誌の略称は、外国語文献の場合は Index Medicus の省略法に準拠する。日本語文献の場合は、発行所（学会・研究会・出版社等）の定めた略称を用いる。

(7) 文献の形式は、次のように統一する。

<雑誌・ムック形態の出版物の場合>

執筆者名：論文名．雑誌名、巻：発行年、ページ．

・星 亨ほか：骨髄炎および感染性偽関節の治療成績．日骨関節感染会誌 21：2007，17-22.

・宮坂芳郎ほか：腰,仙椎損傷，整形外科 NEW MOOK 4：1998，21 - 215-227.

・Kotani A et al: Reconstruction of the anterior cruciate ligament using Poly-l-lactide interference screw or titanium screws:A comparative study. The knee 8: 2001, 311-315.

<書籍の場合>

執筆者名：章名,書名,版,編集者または監修者名,発行者（社）,発行地,発行年,ページ.

・市村正一：骨量測定．最新整形外科学大系 2 運動器の診断学. 戸山芳昭編. 中山書店, 東京, 2008, pp 181-187 .

・ Satomi K: Posterior approach. In: The Cervical Spine, Fourth Ed, ed by Clark CR, Lippincott Williams & Wilkins, Philaderphia, 2005, pp 1107-1114.

(8) 文献のすべてについて、初めと終わりのページのコピーを本原稿に 1 部添付すること。なお、単行書についてはこのほかに書名、版、発行者（社）、発行地、発行年が明らかになる個所のコピーも添付すること。

9. 図、表などはすべてA 4判の別紙に記入もしくは添付、裏に著者名、天地を記入し、本文中に挿入個所を指定すること。図はそのまま製版できるよう正確、鮮明なものを添付すること。写真の大きさは**5.5cm×9cm**以上、B 5判までで、あまり厚くない台紙に貼付する。顕微鏡写真にはできればスケールをつけるのが好ましい。その説明文には倍率を入れる。カラー写真はその旨明記したものにかぎり実費で掲載する。カラー掲載を希望しない場合は、すべて白黒プリントで投稿すること。図の説明文は別紙に一括して掲載順に記載する。他の著作物から引用・転載を行う場合は、必ずその旨を記載するとともに出典を明示すること。また、予め著作権者に許可を得ること。
10. キーワードを**3**個以内とし日本語、英語を併記し、タイトルページに付す。
11. 本原稿（図・表・引用文献含む）のほか、そのコピー2部を添え提出のこと。ただし図、表は3部とも原画を使用のこと(コピー不可)。
12. 原稿が事務局へ到着した日を受付日とする。
13. 原稿は、完全なものとして送付されたく、校正の際における加筆、補正は遠慮されたい。雑誌に添付されている投稿論文チェック表に、論文指導責任者の署名をもらい、論文と一緒に送付のこと。著者校正後は速やかに返送のこと。なお、原稿・図・表は返却しない。
14. 用語、表現などにつき編集者の責任で、この投稿規定に従い修正することもあるので、あらかじめ了承されたい。
15. 掲載料は無料であるが、執筆者において別刷り希望の方は、寄稿と同時に希望数をタイトルページに朱書されたい。別刷料金は20部までは無料とし、以上10部増毎に**3000**円とする。
16. 原稿は（簡易）書留郵便等で下記宛に送付のこと。

・投稿論文送付先

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

杏林大学整形外科学教室内

日本骨・関節感染症学会事務局

Tel: 0422-47-5511 (内 3622) FAX:0422-48-4206

(昭和62年7月 4日 制定)

(平成17年6月25日 変更承認)

(平成21年6月19日 変更承認)

(平成23年7月 9日 変更承認)

※ 投稿論文のデジタルデータ化について

査読と修正が終了し採用が決定した論文については、同一内容を記録した記録媒体（CD-R または USB）を提出願います。記録媒体の提出に際しては以下の点に留意してください。

- (1) 記録媒体はコピー版を提出してください。論文データのオリジナルは手元に残し、提出記録媒体にはコピーした内容を記録してください。提出いただいた記録媒体は原則としてお返ししませんのでご注意ください。
- (2) 提出記録媒体には当該論文および関係データのみを入れてください。
- (3) 提出記録媒体には、以下の内容を明記して下さい。
①受稿番号, ②論文筆頭者所属機関名, ③論文筆頭者氏名
- (4) その他の注意事項
 - ① 記録媒体はプラスチックケースに入れるなど、郵送時に破損の恐れのないように御配慮ください。
 - ② 提出いただいた記録媒体に関して、印刷会社より直接投稿者に問い合わせをする場合がありますので御了承下さい。